知っとくとお得？！糖尿病ケア

低血糖の症状とは？

動悸

生あくび

ふるえ

- 空腹感
- 気分不良
- めまい
- 冷汗
- 眠気

意識が遠くなる

けいれん

昏睡

低血糖を起こしてもこれらの症状が現れないことがあります。（無自覚低血糖といいます。）低血糖に気付かず、上記右側（意識が遠くなる、痙攣、昏睡）の重い症状が急に現れることがあります。この状態になると患者は自分で対応できないため、ご家族や周りの助けが必要です。

＜低血糖の対処法＞

動くのやめて、直ちに休息を取る。
（可能であれば、血糖値を測定する）

清涼飲料水に含まれるブドウ糖の量

商品名	ブドウ糖(g)	容量(mL)
ファンタグレープ	4.5	100
ファンタオレンジ	4.6	100
リアルゴールド	5.5	100
コカ・コーラ	3.4	100
Qoo　オレンジ	3.2	100

（コカコーラ近畿お客様相談センターより 2024.9.17）
（注）ブドウ糖の量は、季節によっても多少変動します。

□ ブドウ糖（5－10g）

□ ジュース（150-200mL）

□ ラムネ　10粒程度

□ コーヒーシュガー（20g）

摂取してから15分くらい様子見る

15分経っても効果がなく、血糖値の上昇がなければ、もう一度同じ事を繰り返します。

※ただし、人工甘味料は低血糖症状には無効です。
※あめ玉やチョコレートは溶け難いのと、吸収に時間がかかるので緊急時には好ましくありません。

経口摂取が不可能な場合は、ブドウ糖や砂糖を口唇と歯肉の間に塗りつけて、病院に連絡の上受診してください。

バクスミーは低血糖を起こした患者さんの応急処置に用いるお薬です。

黄色の容器の長さ：約79mm、横（直径）：約31mm
本剤を使用する直前まで包装用フィルムをはがさないでください

1回使いきりのお薬で室温（30℃以下）で保管可能です。

使い方動画

出典：低血糖時の救急処置のために　バクスミー粉末剤使用の手引き

～災害時へのお薬の備え～

＊お薬に関して災害時に最低限持ち出すものリスト＊

□飲み薬
（最低でも1週間分）

□インスリン自己注射セット
（インスリン製剤、インスリン注入器、注射針、消毒用アルコール綿など）

□ 自己血糖測定器
（センサー、穿刺器具、消毒用アルコール綿など）

※お薬の内容はかっわることあるのでできるだけ新しい情報を備えておくようにしましょう

□お薬手帳
又は薬剤情報提供書

□ 糖尿病連携手帳

□ ブドウ糖（低血糖対策の糖分）

災害時用に備えているお薬にも使用期限があります。
定期的に新しいものと交換するようにしましょう。
お薬、特にインスリンの保管は温度に注意が必要です。

出典：インスリンが必要な糖尿病患者さんのための災害時サポートマニュアル

大阪医科薬科大学病院　薬剤部
後援：高槻市